

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社
 コード番号 6254 URL <http://www.nomura-nms.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 千田 豊作

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 日向 潤

TEL 046-228-5195

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	7,867	△21.4	△788	—	△504	—	△551	—
26年3月期第3四半期	10,012	21.2	△686	—	△291	—	△258	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △34百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 139百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△62.07	—
26年3月期第3四半期	△28.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	15,410	7,664	49.3	855.65
26年3月期	15,661	7,753	49.2	867.10

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 7,604百万円 26年3月期 7,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,551	△22.9	△763	—	△647	—	△935	—	△105.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	10,152,000 株	26年3月期	10,152,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	1,265,035 株	26年3月期	1,265,035 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	8,886,965 株	26年3月期3Q	8,953,632 株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などを背景として企業収益や雇用改善により景気は緩やかに回復する一方、円安に伴う輸入原材料の上昇や新興国経済の先行き懸念等引き続き一部不透明な状況となりました。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2014年第3四半期の半導体製造装置出荷額は、北米・中国を中心に前年同期比15.4%増の88億2千万ドルとなり、投資に回復の兆しが見られました。また、液晶関連企業はスマートフォンやタブレット向け高精細・中小型パネルの価格低下、需要減速等により設備投資を手控える状況が続きました。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・液晶関連企業、国内では製薬関連企業を中心に積極的な営業活動を展開する一方、一昨年参画した中国貴州省の浄水・汚水処理事業は第1期工事に着手し、本年からの事業開始に向けた取り組みを進めてまいりました。

水処理装置につきましては、国内の製薬関連企業や韓国の半導体・液晶関連企業から受注した超純水製造装置、並びに台湾で受注した液晶関連企業の廃水回収装置の工事が進捗いたしました。工事開始の遅れや投資金額の縮小に伴う受注金額減等により、売上高は33億6千7百万円（前年同期比41.9%減）となりました。メンテナンス及び消耗品につきましては、国内は小型機器、韓国、台湾及び中国はメンテナンスの売上が増加したことから、売上高は38億6千3百万円（同5.8%増）となり、その他の事業はPVDF配管材等の受注により、売上高は6億3千6百万円（同13.1%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の減少、低採算案件の工事の進捗や販管費の増加等により営業損失となり、為替相場が円安になったことから為替差益2億7千8百万円を計上いたしましたが、経常損失となりました。また、研究所建設用地として保有していた土地の減損損失9千5百万円、並びに隣接地の賃貸借契約解約に伴う権利金の未返還部分等6千1百万円、当社が納入した消耗品に関連して発生した不具合に関わる損害賠償金9千9百万円を特別損失に計上し、四半期純損失となりました。

以上の結果、売上高は78億6千7百万円（同21.4%減）、営業損失は7億8千8百万円（前年同期は6億8千6百万円の営業損失）、経常損失は5億4百万円（前年同期は2億9千1百万円の経常損失）、四半期純損失は5億5千1百万円（前年同期は2億5千8百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億5千万円減少し、154億1千万円となりました。これは主に、仕掛品が6億9千5百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が8億2千4百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1億6千2百万円減少し、77億4千5百万円となりました。これは主に、流動負債のその他が6億4千5百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が8億5千万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて8千8百万円減少し、76億6千4百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が4億9千4百万円増加した一方で、利益剰余金が6億1千9百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年11月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

なお、当該変更に伴う当第3四半期連結累計期間の期首の利益剰余金及び当第3四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,788,515	4,000,926
受取手形及び売掛金	5,431,392	4,606,477
商品及び製品	49,861	61,685
仕掛品	803,214	1,498,705
原材料及び貯蔵品	172,813	179,701
その他	989,734	878,977
貸倒引当金	△32,554	△25,510
流動資産合計	11,202,976	11,200,963
固定資産		
有形固定資産	2,621,658	2,634,860
無形固定資産		
のれん	13,330	9,331
その他	196,445	30,917
無形固定資産合計	209,775	40,248
投資その他の資産	1,626,697	1,534,292
固定資産合計	4,458,132	4,209,402
資産合計	15,661,108	15,410,365
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,301,030	1,450,941
短期借入金	3,795,664	3,818,107
未払金	592,603	675,001
未払法人税等	108,576	13,063
製品保証引当金	213,657	150,801
工事損失引当金	24,639	20,120
賞与引当金	91,728	82,545
役員賞与引当金	3,693	11,576
資産除去債務	63,139	63,240
その他	359,558	1,005,355
流動負債合計	7,554,293	7,290,752
固定負債		
役員退職慰労引当金	121,082	147,322
損害賠償引当金	—	72,728
退職給付に係る負債	35,875	52,328
資産除去債務	14,503	14,640
その他	181,762	167,691
固定負債合計	353,223	454,710
負債合計	7,907,517	7,745,463

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,011,694	2,011,694
利益剰余金	3,645,393	3,026,328
自己株式	△606,603	△606,603
株主資本合計	7,287,284	6,668,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,262	71,355
為替換算調整勘定	370,351	864,568
その他の包括利益累計額合計	418,613	935,924
新株予約権	44,418	52,402
少数株主持分	3,275	8,357
純資産合計	7,753,591	7,664,902
負債純資産合計	15,661,108	15,410,365

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	10,012,478	7,867,116
売上原価	8,474,217	6,379,598
売上総利益	1,538,261	1,487,517
販売費及び一般管理費	2,224,561	2,275,668
営業損失(△)	△686,299	△788,150
営業外収益		
受取利息	18,969	7,512
受取配当金	7,514	8,484
受取家賃	23,837	18,628
為替差益	375,344	278,715
その他	11,067	5,254
営業外収益合計	436,733	318,595
営業外費用		
支払利息	34,386	31,106
持分法による投資損失	6,205	1,647
その他	1,647	1,986
営業外費用合計	42,238	34,739
経常損失(△)	△291,804	△504,294
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,646
新株予約権戻入益	1,496	272
特別利益合計	1,496	2,918
特別損失		
固定資産売却損	22	5,601
固定資産除却損	14	10
減損損失	—	95,240
ゴルフ会員権評価損	16,384	—
賃貸借契約解約損	—	61,709
損害賠償金	—	99,402
その他	2,583	—
特別損失合計	19,004	261,963
税金等調整前四半期純損失(△)	△309,312	△763,340
法人税等	△50,905	△211,421
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△258,407	△551,918
少数株主損失(△)	—	△253
四半期純損失(△)	△258,407	△551,665

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△258,407	△551,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,409	23,093
為替換算調整勘定	347,394	492,457
持分法適用会社に対する持分相当額	2,700	2,247
その他の包括利益合計	397,504	517,798
四半期包括利益	139,097	△34,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	139,097	△34,355
少数株主に係る四半期包括利益	—	234

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	7,199,255	1,916,739	896,483	10,012,478	10,012,478
セグメント間の内部売上高又は振替高	501,051	623,296	—	1,124,347	1,124,347
計	7,700,306	2,540,035	896,483	11,136,825	11,136,825
セグメント損失(△)	△494,987	△100,431	△90,881	△686,299	△686,299

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,145,604	2,563,063	158,448	7,867,116	7,867,116
セグメント間の内部売上高又は振替高	754,093	356,504	—	1,110,597	1,110,597
計	5,899,698	2,919,567	158,448	8,977,714	8,977,714
セグメント損失(△)	△420,563	△344,442	△23,145	△788,150	△788,150

(注) セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

第2四半期連結会計期間において、「日本」セグメントが保有する遊休資産の減損損失を計上しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては95,240千円であります。